

# 出席者の半数が平成の卒業

## 長崎支部

大分大学経済学部四極会長崎支部の平成30年度総会および懇親会は、平成30年7月26日（水）に、四極会本部から柴田宏二四極会常務理事（大17）、野々下俊昭四極会理事（100周年実行委員長）（大12）をお迎えして、長崎市新地町の中華料理「新和楼」で開催された。

当日は、記録的な猛暑の中、三重雅夫先輩（大15）を筆頭に、長崎市内及び近郊在住の会員29人が集まり、旧交を温め、母校での日々を懐かしく語り合うひと時を楽しみ過ごした。



若い人が増え、活力にあふれる長崎支部の懇親会

まず、恒例の記念撮影を行うことから、内堀泰明事務局長（大30）の進行で総会が開始された。

はじめに濱津勝司支部長（大20）が「四極会本部からお二人の理事においていただき、また、多くの会員のみなさんとお会いすることができた。懇親会で旧交を温めてほしい、また、ビンゴ大会も企画したので楽しんでいただきたい」と挨拶された。

続いて、来賓の柴田宏二常務理事から、四極会の活動状況、特に2022年に迎える母校創立100周年事業についての準備状況についてお話があり、野々下理事からは「100周年は、母校の次の100年の基礎になるものになりたい」と強い協力要請の言葉があった。

このあと、三重雅夫先輩（大15）の乾杯の音頭で懇親会がスタート。途中、丸山一郎幹事長（大25）による会計報告、内堀事務局長の進行による恒例の初参加者の自己紹介、永橋勝巳職域幹事（大36）の司会による、高級スイーツが当たる「カラくじなし」のビンゴ大会を開催した。

今回は出席者29人のうち16人が平成に入ってから卒業生が顔を揃えた活力溢れる集まりとなり、今後の支部活動への期待が広がる思いであった。

最後に、櫻井権次先輩（大21）の歌唱指導で、懐かしい校歌、逍遙歌、寮歌を全員で声高らかに斉唱のあと、初参加の前田忠司君（大48）の音頭で万歳三唱してお開きとした。

集合写真を撮影したデジカメのSDカードのデータが破損し、復元作業も不可能で、今回集合写真を送付出来ませんでした。集合写真は、くれぐれも2台以上のカメラやスマホで撮影しておくべきだと反省した次第です。

### ▼出席者（敬称略）

〔来賓〕柴田宏二四極会常務理事（大17）、野々下俊昭四極会理事（100周年実行委員長）（大12）  
〔会員〕三重雅夫（大15）、松尾宗茂（大17）、牧英慈（大18）、岩崎勝（大19）、濱津勝司（大20）、久松誠二（大20）、櫻井権次（大21）、丸山一郎（大25）、土肥原弘久（大28）、中尾知徳（大29）、内堀泰明（大30）、大野哲

彦（大30）、永橋勝巳（大36）、岡部文博（大37）、中村三郎（大37）、前田圭介（大38）、松本正剛（大38）、倉田成一（大39）、佐伯秀通（大39）、富田光男（大41）、前田忠司（大48）、伊藤純（大49）、内海信人（大50）、小野田晃大（大54）、和田健（大58）、小畑早矢香（大59）、田中良彦（大62）、本田泰拓（大65）、馬場崇行（大66）